

令和 8 年磐田市「二十歳の集い」の報告について

1 開催概要

日時：令和 8 年 1 月 11 日（日）11：00～12：00

場所：磐田市民文化会館「かたりあ」

参加者数：1,268 名（住基上の 20 歳の数に対して 80.0%の参加）

Youtube 配信最大同時視聴者数：438 人

時間	内容	備考
10 時 30 分	集合写真撮影	南部中、豊田南中の 2 校のみ
11 時 00 分 ～ 12 時 00 分頃	式典	二十歳の集い実行委員が式典を進行 開式の辞、式辞、祝辞、静岡いわた PR 大使からのメッセージ紹介、決意の辞、 合唱（正解/RADWIMPS）、市歌斉唱、閉式の辞 決意の辞：男性 2 名、女性 2 名
12 時以降	集合写真撮影	移動が完了した学校から集合写真撮影を実施
13 時 00 分	恩師メッセージ配信	47 名の恩師から寄せられたメッセージを中学校ごとに LINE で配信
13 時 30 分	閉場	

2 成果と課題

【成果】

- 参加者への事前周知として、市ホームページの掲載や実行委員会を介した情報提供を行った。特に中学校ごとの当日動線の周知については、実行委員に対して Zoom で事前レクチャーを行い、各中学校内での周知徹底を依頼した。その結果、入場や退場では混乱は起きることなく、写真撮影では時間どおり撮影を進めることができた。
- 着席できない方がでないよう詰めて座ってもらうよう協力を促すことができた。
- 今年度から、アミューズ豊田ゆやホール（保護者待機場所）で、youtube 配信を上映した。ゆやホールに来た保護者の方に式典の様子を見てもらうことが出来た。

【課題】

- 風が強かったことから、建物に風が遮られる「かたりあ」東側に多くの参加者や保護者の方が集中し、滞留しており、駐車スペースにはみ出している参加者には車両接近時の声掛け等を実施し対応。
- 事前に保護者の入場規制や待機場所について、もう少し周知が必要。今年度はゆやホールで式典の様子が見られるよう youtube 配信を上映したが、ゆやホール等（保護者待機場所）については、席数に限りがあるため周知・運営方法の検討が必要。

令和7年度こども・若者育成支援大会の報告について

開催概要

- 日時： 令和8年2月9日(月)13:30～15:30
- 場所： ワークピア磐田 多目的ホール
- 参加人数： 115 名
- 内容： 講演会
テーマ「地域と学校の連携・協働—コミュニティ・スクールの可能性—」
講師 市川 重彦氏(社会教育士、川口市立鳩ヶ谷中学校長)

参加者感想

- ・地域と学校が一体となり、連携から融合、そして一緒に汗をかく協働へ進める視点がとても具体的で心に残った。根っこを育てる教育を土台に、不登校支援や居場所づくり、行事再設計までを仕組み化し、持続可能な地域づくりを目指す姿勢に大きな可能性を感じた。
- ・こども・若者に携わる人が願いや思いをもって考えたり関わったりすることが行動につながる。行動を起こすことによってこども・若者だけでなく、地域の方々や教職員にも相乗効果がある。
- ・磐田市では活動推進員としてCSDの活躍があるが、その方たちからも成果や課題を直接聞いてみたい。



令和7年度磐田市こども・若者育成支援大会 アンケート集計

令和8年2月9日(月)開催

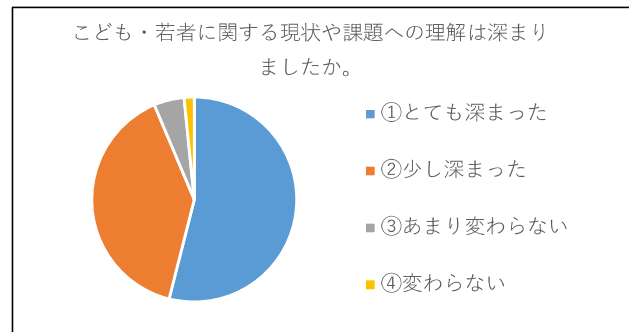
◆当日参加者 115名(事前申込者 119名)

1. 立場(アンケート回答者)

民生児童委員・主任児童委員	20
学校関係者	12
地域づくり協議会・自治会等	7
CSC	5
PTA関係	4
一般	4
市民活動団体	4
行政関係者	3
教育委員・社会教育委員	2
交流センター職員	2
家庭教育支援員	1
市議会議員	1
社会教育士	1
アンケート回答者合計	66

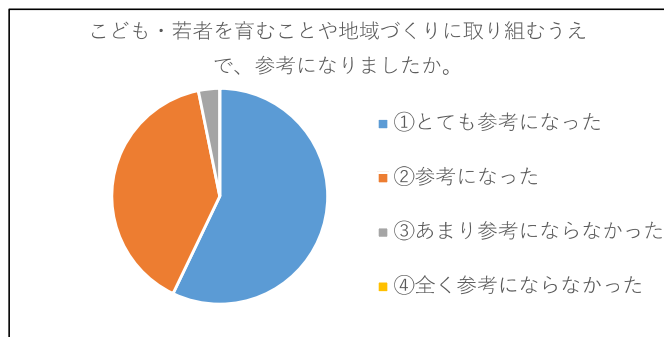
2. こども・若者に関する現状や課題への理解は深まりましたか。

①とても深まった	34
②少し深まった	25
③あまり変わらない	3
④変わらない	1
計	63



3. 現在の立場において、こども・若者を育むことや地域づくりに取り組むうえで、参考になりましたか。

①とても参考になった	36
②参考になった	25
③あまり参考にならなかった	2
④全く参考にならなかった	0
計	63



4. 参考になった点や感想を教えてください。(主な回答)

- ・地域も学校も歩み寄る姿勢を感じました。お互い知ろうとすることが大事だと思いました。
- ・地域と学校が一体となり、連携から融合、そして一緒に汗をかく協働へ進める視点がとても具体的で心に残りました。根っこを育てる教育を土台に、不登校支援や居場所づくり、行事再設計までを仕組み化し、持続可能な地域づくりを目指す姿勢に大きな可能性を感じました。
- ・双方向、Win-winになる方向に向きたいと強く感じた。地域の方々が大勢参加していて、頼もしく思ったが、もっと広く浸透させたい。
- ・PTAに関わる身として、コミュニティスクールに関する理解が深まって良かった。今後、地域も含めてより良く連携していける方法を考えるためのヒントがたくさんあった。
- ・学校運営協議会において、地域の立場でもっと積極的に関わって良い、地域を巻き込むのがポイントとなる。
- ・『ふらっとサポーター』このように、ゆるい活動でもいいんだ、と。ついボランティア登録したら、行かない、と思いついハードルが上がってしまい、登録をためらう人も多いだろうけど、来ない日があってもというゆるさがいい。イベントや活動は、自分たちも楽しむ、楽しめるようなものにする事、大切ですね。
- ・PTA役員になり、学校運営協議会に参加してそこでは建設的な意見は出るが、それを今回の講演みたいに行うことができるのか課題だと思いました。会場からのPTA役員さんからも意見が出ましたが、共働きでPTA活動にも消極的になってるのも、自分の学校でもPTA活動に役員だけが携わっていることが事実。

5. ご自身の立場で実践したいと思ったことがあれば教えてください。(主な回答)

- ・コミュニティスクールコーディネーターをしております。地域となつながりづくりを話し合いで深めること、実践したいです。
- ・様々な取り組みの中で、学校の現状に合い、取り入れられそうなものについて、実践していきたいと思います。
- ・地域の方へ、学校作りに関わっていただく事への重要性を伝えていく。先生方への、地域の方が関わってもらう事の重要性を伝える。地域のさまざまな立場のかたとまずは面識を持てる場に出向く。
- ・避難所運営ゲームをみんなでやりたいと思いました。
- ・子どもがいない、地域での活動もしていない、日中は仕事をしているという人にとって、学校は入りにくい場所です。情報もなかなか入ってこないし、どのように関わっていいのかわかりません。教育に関心はあるのですが。

6. その他(どのような取り組み事例を知りたいか など)(主な回答)

- ・つながりをするきっかけ、地域への呼びかけ方を知りたいです。チラシではなかなか難しいですね。
- ・立場の違い、温度差のある人達との関わり方
- ・磐田市内の具体的な活動事例を知りたい。
- ・不登校支援について、ふらっと学校へ行ってボランティアができる体制づくり(職員がその都度対応するのも大変だと考える。職員の負担にならず、地域の人が空き時間に学校で活動するにはどうすれば良いのか？
- ・学校運営協議会の取り組みをもっと一般に向けて発信してほしいです。
- ・磐田市では活動推進員としてCSDの活躍がありますが、その方たちからも成果や課題を直接聞いてみたいと思いました。
- ・部活動が学校からなくなることで学生たちが心配です。部活動は、学生たちの趣味を広げる、作るにとどまらず、人生を変える程のものもあり人間を豊かにする物でもあります。地域支援での取組の事例があれば知りたいです。
- ・地域を巻き込む方法。やらされる仕事ではなく、前向きな協働をうみだすにはどうしたらいいのか。